

**【施策評価調査】**

施策名	2-2-4	高齢者の生活支援		87	高齢者が明るく安心して生き生きとした老後を暮らすことができるようにするために 1. 子どもから高齢者、障害者も利用できる複合的な多目的施設の整備 2. 要支援要介護にならない予防策 3. 地域包括支援センターの有効活用 4. 高齢者の社会参加と学習機会の提供 5. 安定した生活支援 6. 地域協力の体制づくりを構築する 当施策は、5.6の観点から介護施設を必要としている対象者を把握し、精神的に安定した生活を送ることができるよう施設の整備、独居高齢世帯・低所得世帯への生活を支援していきます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当リーダー	社会福祉担当		
環境変化	高齢者数(65歳以上)は、19年3月末で5586人、高齢化率は18.1%となっています。町では、高齢者数、高齢化率ともに今後も増加が見込まれることから、高齢者に対する福祉施策をさらに充実させていく必要があります。		赤羽 一夫		高齢者が住み慣れた地域で生活し続けていくために、高齢者の生活全体を支える地域の基盤を構築します。特に、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への生活支援を拡充するため、地域資源をつなぐ人的ネットワークを構築するとともに、地域住民が公的サービスを含めた様々なサービスの担い手として参加できるコミュニティの再生を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：介護保険新規認定者数(人)	平成16年度	計画	249人	264人	279人	294人	311人
		実績	233人	258人	215人		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	33,889,000	27,223,000	32,406,000	28,659,000	
決算	28,301,991	24,991,578	23,389,423			

**専務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	
老人施設入所措置費	H21 現計 18,710,000 H22 計画 23,295,300	養護老人ホーム入所措置者数 11人	居宅での生活困窮者(虐待・放置)に対する安全確保のため入所措置を行っていく。	今後の方向性(総合評価) 継続
緊急通報装置貸付事業費	H21 現計 4,903,000 H22 計画 5,556,300	緊急通報措置貸与台数 140件	ひとり暮らしの高齢者、重度身体障害者における緊急時対応とした装置を設置する。設置後は24時間体制での緊急対応が可能となる。	今後の方向性(総合評価) 条件付継続
在宅介護支援センター事業費	H21 現計 2,250,000 H22 計画 2,250,000	実態把握数 460件	高齢者の実態を把握することで、健康状態の確認や相談につながるなど、サービス提供者の顔が見え、将来の介護等の相談につながりやすい。	今後の方向性(総合評価) 継続
低所得者利用者負担対策事業費	H21 現計 276,000 H22 計画 211,203	認定者数 5人	低所得者に対しても介護サービスが受けられるようにする。	今後の方向性(総合評価) 継続
住宅用火災警報器購入設置費助成事業費	H21 現計 1,260,000 H22 計画 250,000	火災警報器購入設置費の助成世帯数 50世帯	低所得者世帯等においても、火災警報器の設置が進んでいく。	今後の方向性(総合評価) 継続
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	高齢者の安心安全を確保する事業が必要である。	
現状水準維持			
総合評価	総合評価		
	包括、社協、在介、民生委員等と役割分担しながら施策展開されていると評価する。ただし、後期計画策定に向けて、「2-2-3高齢者の生きがい支援」や、「2-2-5認知症高齢者対策の推進」との施策間の事務整理を行った施策展開を検討すること。		